

京都市文化芸術活動再開への挑戦サポート交付金 応募用紙

(宛先) 京都市長	令和2年 8月 1日
住所又は団体所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇 京都市中京区〇〇町 220 〇〇マンション	氏名 (グループ・団体の場合はグループ・団体名 及び代表者氏名) 京都〇〇〇の会 代表 文化 太郎 ⑩ 電話 (075) 〇〇〇-〇〇〇〇

1 応募者について	
プロフィール	
京都市内の活動拠点	拠点とする場所①：シェアアトリエ (住所〇〇〇) 使用目的：作品の制作 使用頻度：平日毎日 拠点とする場所②：貸スタジオ 使用目的：稽古場 使用頻度：週に1回
活動ジャンル (当てはまるものを ○で囲んでくださ い。) ※複数回答可	文学 ・ 音楽 ・ 美術 ・ 写真 ・ 演劇 ・ 舞踊 映画 ・ 漫画 ・ アニメーション等のメディア芸術 雅楽 ・ 能楽 ・ 文楽 ・ 歌舞伎 その他の伝統芸能 () 講談 ・ 落語 ・ 浪曲 ・ 漫談 ・ 漫才 ・ 歌唱 その他の芸能 () 茶道 ・ 華道 ・ 書道 ・ 食文化 その他の生活文化 () 国民娯楽 (囲碁, 将棋) 上記に当てはまらないもの ()

京都市文化芸術活動再開への挑戦サポート交付金 事業計画書

1 応募事業について	
提案金額	金 1, 0 0 0, 0 0 0 円 ※交付対象経費の範囲内で上限を 2 0 0 万円とします。1 万円未満は切り捨て
事業名	○○○○○○○○○○○○○○
応募区分 (当てはまるものを ○で囲んでくださ い。)	○公演○ ・ 展示 ・ その他 ()
実施期間	令和 2 年 1 2 月 1 日～1 2 月 2 日
実施会場	○○会館
※以下全ての項目について、できるだけ簡潔に記入してください。	
応募する事業内容 (活動の方法, 場所, 実施内容などを具体 的に記入してくださ い)	
現下の情勢に適合し た新たな表現方法や 鑑賞形態の工夫 (社会的距離の確 保, 三密回避, 表現 手法等について)	
鑑賞者数 (予定)	○○○○人

<p>実施に向けた事業スケジュール</p>	
<p>今回の制作発表を通じて京都市の文化芸術振興や市民還元に資する点</p>	
<p>今後、取り組んでいきたいこと</p>	
<p>2 返礼品について</p>	
<p>クラウドファンディング寄付者へ返礼品として提供できるもの ※京都市内に居住する方は金銭換算できる返礼品を受け取ることができないため、金銭換算できないもの（ゲネプロ、交流会への招待等）を提案してください。</p>	<p>京都市外の寄付者への返礼品 候補1. 作品の提供 候補2. 公演のチケット 京都市内の寄付者への返礼品（金銭換算できないもの） 候補1. ゲネプロへの招待 候補2. 交流会への招待</p>

収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

収入予定事項	収入予定額	内 訳
京都市文化芸術活動再開への 挑戦サポート交付金	1,000,000	
他の補助金等	300,000	京都府文化活動継続支援補助 金
自己資金	300,000	入場料 3,000 円×50 人×2 回
その他	0	
合計額	1,600,000	

2 支出の部

(単位：円)

支出予定事項	支出予定額	内 訳
会場費	400,000	100,000 円×2 箇所×2 日
チラシ印刷費	100,000	20 円×5,000 枚
舞台美術製作費	100,000	材料の詳細 (木材、粘土等)
運搬料	50,000	1 式
音響・照明費	200,000	1 式
映像費	100,000	1 式
企画・演出料	100,000	1 式
出演料	200,000	100,000 円×2 名
制作スタッフ費	100,000	1 式
記録費 (編集含む)	100,000	1 式
交付対象経費計 (A)	1,450,000	
交付対象外経費 (B)	150,000	備品・ケータリング等
合計額 (A+B)	1,600,000	

※収入の部の合計額と支出の部の合計額は同額とすること

京都市文化芸術活動再開への挑戦サポート交付金 事前着手届

(宛先) 京都市長	令和2年 8月 1日
住所又は団体所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇 京都市中京区〇〇町 220 〇〇マンション	氏名 (グループ・団体の場合はグループ・団体名 及び代表者氏名) 京都〇〇〇の会 代表 文化 太郎 (印) 電話 (075) 〇〇〇-〇〇〇〇

事業名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
事前着手の理由	令和2年12月から開催する公演の準備をする必要があるため
事前着手日 (事業準備を含む 事業開始日)	令和2年8月1日
注意事項	事前着手届を提出された場合、応募日以降に支出された経費が交付対象となります。